

又聞ク所ニ依レハ二十三日午前二十五萬弗ヲ香港上海銀行ヘ現送シ來レリト云フ

二、當地稅關檢察官シーデー、コマラッフハ必要ニ應シ「バターフロールド、エンド、スワイヤ」ヨリ八萬弗ヲ引出スコトヲ得

尙艦隊入港ノ曉ニハ「エムムール」商會カ一切ノ事ヲ引受クルコトニナリ居ル趣ナリ

是ニ於テ山本參謀長ハ、露國増援艦隊カ、或ハ突然臺灣海峽方面ニ現ル、ヤモ計リ難キヲ顧慮シ、二十五日伊集院海軍軍令部次長ニ該情報ヲ電報ス、

日本海々戰ノ後五月二十九日山本參謀長ハ、伊東海軍軍令部長ノ命ニ依リ曩ニ各方面ニ派遣シタル見張人ヲ召還ス、

六月一日山本參謀長ハ、臺灣島各望樓ニ左ノ電訓ヲ與フ、

敵艦隊ノ一部本島方面ニ逃ケ來リ我カ艦隊ノ一部追撃シ來ルヤモ計リ難シ十分注意セヨ

七月七日臺灣島ノ戒嚴令ヲ解止セラル、

十一日陸軍ニ在リテハ、三貂角海岸監視哨ヲ撤去ス、

二十一日基隆臨時敷設隊ハ、運送船須磨丸ニ搭乘シ、佐世保ニ復歸ス、

九月二十五日陸軍ニ在リテハ、淡水、布袋嘴、安平ノ三箇所ヲ除キ、其ノ他ノ海岸監視哨ハ、悉ク之ヲ撤去ス、

十月十五日平和克復シ、曩ニ殘置セル淡水、布袋嘴、安平ノ各海岸監視哨ヲ撤去シ、二十日澎湖島及ヒ基隆要塞諸部隊ノ復員ヲ令ス、

第二章 敵情監視

三十八年四月十一日、山本臺灣總督府海軍參謀長ハ、伊東海軍軍令部長ヨリ左ノ電訓ニ接ス、

一、婆羅的艦隊カ臺灣海峽ニ現レタル場合ニ確實ニ其ノ艦種艦數竝ニ其ノ動靜等ヲ電報セ

シムルノ目的ヲ以テ見張人要スレハ變裝ノ我カ海軍下士卒ヲ臺灣沿岸ノ要點汕頭南澎島

チャペル島烏坵列島回船島ニ配置シ置キ度ニ付貴官ハ速ニ此ノ目的ヲ達スルニ必要ノ手

段ヲ施サルヘシ

二、右ニ對スル海軍人員ハ馬公要港部司令官ニ請求スヘシ

依テ山本參謀長ハ、馬公要港部司令官海軍中將松永雄樹ニ請求スルニ、下士卒五名ヲ選抜シテ送ラレシコトヲ以テス、

又此ノ日山本參謀長ハ、齋藤軍事總監ヨリ、敵情監視ニ關シ、基隆若クハ淡水ニ出入スル船舶ニ

報酬ヲ與ヘ、敵艦隊ノ行動ヲ報告セシムルコト、及ヒ數隻ノ「ジャンク」ヲ傭入レ漁業航運等便宜

ノ營業ヲ裝ヒ、臺灣海峽ニ往復漂泊シ、敵艦隊ノ行動ヲ報告セシメ、確實ノ報道ヲ爲シタルモノ

ニハ、相當ノ報酬ヲ與フルコト等ノ手段ヲ執ラレタシ、トノ電報ニ接ス、

翌十三日山本參謀長ハ、對岸各要地ニ見張人派遣ノ方法等ニ關シ、後藤民政長官ト左ノ如ク交渉協定ス、

一、對岸ノ要點五箇所ヘ變裝海軍ヤ人及ヒ通譯ヲ乘組マセタル「ジャンク」船ヲ各一隻ツ、派

遣ヲ要スルニ付相當ノ「ジャンク」五隻ヲ備入ル、コト

二、右各船ニ乗組マシムヘキ相當ノ通譯ヲ選抜備入スルコト

但該通譯ハ羅馬字電信ノ取扱ヲ爲シ得ルモノナルヲ要ス

三、各所燈臺勤務ノ外國人ヲ買收シ確實ナル報告ヲ發セシメ加之前記派遣ノ「ジャンク」ト該

外人ト聯絡シ迅速ニ報告ヲ發セシムルノ手段等ヲ取計ラフコト(編者曰ク以上協定ハ同十四日以後漸次ニ之ヲ實施ス)

又同日敵艦隊ノ行動懸賞報告ノ件ニ關シ、後藤民政長官ト左ノ如ク交渉シテ、之ヲ實施ス、

一、基隆及ヒ淡水ノ出入船舶ニ對シ懸賞報告ヲ募ルハ反テ彼等ヲ恐怖セシメ不得策ト思考

スルニ付沿岸警察官ニ於テ出入船舶ニ就キ精密ニ偵察報告セシムル様命令アリタキコト

二、「ジャンク」備入ノコトハ然ルヘキ本島人ノ紳商ニ請負ハシムルコトニ致度ニ付右選擇方

竝ニ「ジャンク」備入費ノ取調相成度コト

而テ同日伊東海軍軍令部長ニ左ノ電報ヲ發ス、

對岸要地五箇所ヘ見張人ヲ派遣シ確實ニ報告セシムル手段トシテ左ノ如ク目下取計中

一、「ジャンク」船五隻ヲ雇入レ要地五箇所ヘ配置シ見張船及ヒ最近電信局所在地ヘノ通信

ニ使用ス

二、右ノ「ジャンク」船ニハ下士卒一名ヲ變裝乗船セシム

三、右ノ下士卒ニハ日本語ヲ羅馬字ニテ電報シ得ル本島人若クハ内地人ノ對岸語素養アルモノ一名宛附添ハシム

四、右見張船ヨリ發スル電信ハ其ノ燈臺ニ電信聯絡アル處ニハ其ノ燈臺ヨリ又無キ處ハ最近電信局マテ急航ノ上發信セシムル豫定

五、右ノ外別手段トシテ各燈臺ノ守員ヨリ敵艦隊ノ行動ニ關スル電報ヲ廈門ノ燈臺監督ニ發信セシメ同人ヨリ當府ニ電報スルコトニ取計ラヒ得タリ此ノ費用トシテ電報料ノ

外要セサル筈ナルモ後ニ至リ多少ノ報酬ヲ與フル豫定

前記一、二、三、四ノ目的實施費用ハ未タ精確ニ豫算シ能ハサルモ取敢ヘス五千圓丈ケ至急御配付ヲ乞フ

尙確實迅速ニ敵艦隊ニ關スル報告ヲ得ル爲メ及ヒ偵察船ヲ兼ネテ目下淡水香港間ノ航海ヲナシアル外國商船二隻ニ廈門以南ノ寄港ヲ取止メシメ單ニ廈門島淡水間ノミヲ毎日往返セシメ之ニ補助金ヲ與フルコトニスルカ或ハ全然備入レテ營業ヲ裝ヒ前記ノ通りニ爲サシムルヲ最得策ト思考ス此ノ事ハ多分行ヒ得ル見込ニ何分ノ御詮議ヲ乞フ

尋テ十四日山本參謀長ハ、臺灣海峽監視ノ一策トシテ、福州香港間及ヒ淡水香港間定期航海ノ外國船々長ト協定シ、月額手當二百圓宛ヲ給シ、尙最迅速ニ報告ヲ爲シ利益ヲ與ヘタルモノニハ報酬トシテ別ニ百圓ヲ與フルコト、ス、

同日對岸要地ニ派遣スヘキ下士卒五名、馬公要港部ヨリ來著ス、其ノ人名左ノ如シ、

- 一等兵曹 高 塚 鎮
- 二等機關兵曹 崎 山 義 秋
- 三等兵曹 吉 丸 增 藏
- 一等水兵 高 鍋 作 次 郎

一等機關兵 大野友三

又山本參謀長ハ、後藤民政長官ニ交渉シ、對岸要地ニ派遣スヘキ通譯ヲ、左ノ如ク選定ス、

乾角太郎 山崎太郎 中野峯太郎 篠田與太郎

阿部 武

同日齋藤軍事總監ヨリ、臺灣島南部呂宋間ニ於ル海上監視ニ關シ、出來得ルナラハ「ジャンク」ヲ備入レ使用セラレタシ、トノ電報ニ接シタルヲ以テ、後藤民政長官ト協議ノ上、十五日「ジャンク」十隻ヲ備入レ、土語ニ通スル者(元巡査)十名ヲ、土語通譯トシテ本島人ニ扮装シ、一名ツ、各船ニ乘組ミ派遣スルコト、ス、其ノ人名左ノ如シ、

米本福太郎 萩原榮袈袈 池部吉之助 今野 白

島津慶吉 柴田 勝 山崎新太郎 加島保雄

岡森三寅 河野道忠

十六日山本參謀長ハ、對岸要地ニ派遣スヘキ變裝下士卒五名及ヒ附添通譯五名、竝ニ臺灣海峡監視ノ爲メ派遣スヘキ通譯六名ヲ、淡水發、フリートヨーフ號ニテ出發セシメ、及ヒ臺灣島南部呂宋間海面監視ノ爲メ派遣スヘキ通譯四名ヲ、打狗ヨリ支那形船ニ乘船セシムヘキ目的ヲ以テ、陸路出發セシム、之ニ關シ後藤民政長官ハ、關係地各領事、竝ニ關係沿岸地方各支廳長及ヒ望樓長ニ向ヒテ、適宜便宜ヲ與ヘラレンコトヲ内密ニ照會シ、之ヲ松永馬公要港部司令官ニ通報ス、尋テ十八日山本參謀長ハ、伊東海軍軍令部長ニ向ヒテ、對岸及ヒ臺灣海峡竝ニ「バシー」海峡ニ人

員派遣ノ顛末、及ヒ外國船長ニ報告委囑ノ件等ヲ、左ノ如ク報告ス、

敵艦隊ノ行動報告ヲ迅速ニ蒐集スル爲メ對岸要地ニ監視人ヲ派遣スル件ノ御命令臺灣海峡及ヒ臺灣呂宋間ニ支那形船ヲ配置スル件軍事總監ノ訓令竝ニ本職ヨリ特ニ具申認許セラレタル各手段ノ實施取敢ヘス左ニ報告ス

(一)「ドーグラス」會社香港福州航路汽船二艘淡水香港航路汽船一隻ノ各船長ニ月額二百圓ノ手當ヲ給シ航路ノ危險ニ迫ルニ關セス勉メテ航海ヲ繼續セシメ又多少目的ヲ達スルニ適スル行船法ヲ取ラシム尙我ニ利益アル報告ヲ第一ニ發シタルモノニハ百圓ノ獎勵的報酬ヲ與フルコトニセリ(十四日 契約済)

(二)廈門對岸各燈臺ノ監督者英國人グレイドナルドヨリ部下ノ各燈臺監視外國人ニ命令ヲ下シテ露國艦隊ノ行動ヲ電報スルコトニナサシメ此ノ報告ヲ同人ヨリ直ニ電報セシム(十五日 契約済)

以上一、二ノ電報ハ何レモ臺北「サミュール」商會ニテ英人ホワイトノ下ニ來ル

(三)兵曹一、通譯一ヲチャペル島附近ヘ兵曹一、通譯一ヲ汕頭附近ヘ兵曹一、通譯一ヲ回船島附近ヘ水兵一、通譯一ヲ烏坵列島附近ヘ水兵一、通譯一ヲ南澎島附近ヘ何レモ本島人ニ扮装シ支那形船ニ乘組マシメ配置ス情報ハ其ノ地ノ燈臺若クハ最近電信局所在地ニ寄港シテ發電セシム

(四)臺灣海峡ノ北部及ヒ南部ニ見張人各一名ヲ乘組マセタル支那船六艘ヲ鹽輸送營業ニ